

## [第1部] 挨拶・基調講演

- 開会挨拶において、日本政府を代表して、和泉内閣総理大臣補佐官より、スマートシティのさらなる推進の強化に際し、「様々な条件やニーズに応じた多様なスマートシティ」、「多様な参加者によるスマートシティ」及び「オープンかつ透明性の高いスマートシティ」の形成が重要であることが示されました。
- 基調講演において、出口教授（東京大学）より、柏の葉スマートシティの成功事例が紹介されるとともに、「Society 5.0」の考えにもとづくスマートシティの取組みが示されました。続いてタン長官（シンガポール）より、スマートシティ実現に際し、官民が協力し、スマートシティ化に民間企業のインフラへの投資を活用できる環境を整える取組みが示されました。山室センター長（世界経済フォーラム第四次産業革命日本センター）からは、G20 グローバル・スマートシティ・アライアンスの取組みが紹介されるとともに、セキュリティやプライバシーの確保、相互運用性、社会の公平性・包括性、持続可能性など、都市がスマートシティを実現するために必要なもの等が示されました。



<全体司会 太田国際建設産業戦略官>



<出口教授基調講演>



<山室センター長基調講演>

## [第2部] プレゼン&ディスカッションセッション

### ● Part1：質の高いインフラによるスマートシティのコンセプトの共有

日本、米国（国務省）、メキシコ、タイからも各国・地域によるスマートシティのコンセプトについて紹介があり、意見交換がなされました。日本からは、国土交通省横田海外プロジェクト審議官から日本の質の高いインフラやスマートシティのコンセプト、Data Free Flow with Trust (DFFT) に関するプレゼンテーションを行いました。

### ● Part2：質の高いインフラによるスマートシティのグッド・プラクティスの共有

香港、インドネシア、ペルー、フィリピン、ロシア、米国（運輸省）より、各国・地域によるスマートシティの好事例について紹介があり、意見交換がなされました。



<横田海外プロジェクト審議官>



<Part1の参加者>



<Part2の参加者>

## [第3部] 官民対話セッション

- 自治体や企業から「質の高いインフラによるスマートシティ」に関する技術や事例が紹介されました。（登壇都市・企業：つくば市、横浜市、（株）ブロードリーフ、NTT（株）、Surbana Jurong Consultants Pte.Ltd.、東急（株）、横河電機（株））



<官民対話の参加者>

[第4部] まとめ

- 共同議長による挨拶で、質の高いインフラやスマートシティ実現に向けた次のステップをAPECエコノミー間で検討していくことが共有されました。